

リリースノート (10.5.3)  
2022 年 11 月

© 著作権 Informatica LLC 2022, 2023

はじめに.....	2
Apache Log4j RCE の脆弱性.....	2
Apache Commons Text RCE の脆弱性.....	3
サポートの変更.....	3
サポートの終了 (10.5.3) .....	3
インストールおよびアップグレード.....	3
インストールおよびアップグレード.....	3
アップグレードパス (10.5.3) .....	4
10.5.3 の修正された問題と実装された拡張要求.....	5
Data Engineering Integration 修正された問題 (10.5.3) .....	5
Data Engineering Quality 修正された問題 (10.5.3) .....	6
Data Engineering Streaming 修正された問題 (10.5.3) .....	6
Data Privacy Management 修正された問題 (10.5.3) .....	7
Enterprise Data Catalog の修正された問題と実装された拡張要求 (10.5.3) .....	7
Enterprise Data Preparation の修正された問題 (10.5.3) .....	11
インストールおよびアップグレード修正された問題 (10.5.3) .....	12
モデルリポジトリサービス修正された問題 (10.5.3) .....	12
プロファイリングおよびスコアカードの修正された問題 (10.5.3) .....	13
Test Data Management 修正された問題 (10.5.3) .....	13
サードパーティ製品の修正済みの問題 (10.5.3) .....	14
10.5.3 の既知の問題.....	14
Data Engineering 既知の問題 (10.5.3) .....	15
Data Engineering Streaming 既知の問題 (10.5.3) .....	16
Data Privacy Management の既知の問題 (10.5.3) .....	16
Enterprise Data Catalog の既知の問題 (10.5.3) .....	16
Informatica Developer 既知の問題 (10.5.3) .....	18
Informatica インストーラ既知の問題 (10.5.3) .....	19
PowerCenter の既知の問題 (10.5.3) .....	19
累積的な既知の制限事項.....	19
Data Engineering Integration の既知の制限事項 (累積) .....	19
Data Engineering Streaming の既知の制限事項 (累積) .....	20

Data Privacy Management の既知の制限事項（累積） .....	20
ドメインの既知の制限事項（累積） .....	20
Enterprise Data Catalog の既知の制限事項（累積） .....	21
PowerCenter の既知の制限事項（累積） .....	22
サードパーティ製品に関する既知の制限事項（累積） .....	22
Emergency Bug Fix10.5.3 への統合 .....	22
Informatica グローバルカスタマサポート .....	23

## はじめに

バージョン 10.5.3 に関連する既知の制限事項と修正内容については、『*Informatica®* リリースノート』を参照してください。Informatica バージョン 10.5.3 リリースには、セキュリティを向上させるための複数のバグ修正とサードパーティライブラリのアップグレードが含まれています。

リリースノートには、アップグレードパス、EBF、およびテクニカルプレビューや保留事項などの限定的なサポートに関する情報も含まれています。

**注:** 更新された機能がガイドに含まれていない場合でも、製品ドキュメントはメジャーリリースごとに更新されます。更新された機能がガイドに含まれている場合にのみ、サービスパックと HotFix の製品ドキュメントが更新されます。サービスパックまたは HotFix のガイドが見つからない場合は、以前のバージョンを参照してください。

## Apache Log4j RCE の脆弱性

バージョン 10.5.3 では、インストールパッケージの変更により、サードパーティの Hadoop および Databricks 統合パッケージバイナリに関連する脆弱性が緩和されています。

インストーラには次のような変更が加えられています。

- Informatica インストーラのクライアントコンポーネントおよびサーバーコンポーネントからサードパーティ統合パッケージのバイナリを分離しました。
- Informatica 環境にインストールする 1 つ以上の統合パッケージを選択するオプションがインストーラに導入されました。
- インストール完了後に統合パッケージを追加または削除するために、統合パッケージマネージャユーティリティが追加されました。

インストーラに対するこの変更は、新規インストール、アップグレード、HotFix の適用など、すべてのインストールタイプに適用されます。

次のシナリオでは、1 つ以上のサードパーティ統合パッケージをインストールできます。

- Hadoop または Databricks 環境に処理をプッシュする。
- Informatica ドメイン内で複合ファイルを処理する。
- Hadoop 環境に接続しても Informatica ドメイン内で処理する。Hadoop 環境には接続するが、Informatica ドメイン内で処理する。

# Apache Commons Text RCE の脆弱性

Informatica バージョン 10.5.3 では、[CVE-2022-42889](#) に関連するセキュリティの脆弱性を修正するために、[vendor guidelines](#) に従って commons-text-1.10.0.jar ファイルが使用されます。

## サポートの変更

バージョン 10.5.3 でのサポートの変更については、このセクションを参照してください。

### サポートの終了（10.5.3）

Enterprise Data Catalog および PowerCenter で終了したサポートを確認するには、このセクションを参照してください。

#### SQL 言語の注釈

10.5.3 では、Enterprise Data Catalog による SQL 言語の注釈のサポートが終了しました。同様の操作を行う場合は、パターン置換ユーティリティを使用してください。パターン置換ユーティリティを使用して、スキャナ入力コード内のテキストのパターンを検索および置換できます。

詳細については、「*MetaDex* スキャナのソースコード内の複合パターンの置き換え」に関する How-to Library (H2L) の記事を参照してください。

#### PowerExchange for Email Server for PowerCenter

バージョン 10.5.3 では、Informatica による PowerExchange for Email Server for PowerCenter のサポートが終了しました。

PowerExchange for Email Server を使用して Microsoft Exchange Online に接続している場合は、以下のいずれかの方法を使用して、PowerCenter から Microsoft Exchange Online に接続できます。

- Microsoft Exchange Online 用の互換性のあるサードパーティ製 ODBC ドライバをダウンロードし、マッピングで ODBC 接続を設定して、Microsoft Exchange Online に接続します。
- Microsoft Exchange Online 用の互換性のあるサードパーティ製 JDBC ドライバをダウンロードし、マッピングで Java トランスフォーメーションを設定して、Microsoft Exchange Online に接続します。

## インストールおよびアップグレード

バージョン 10.5.3 でのインストールとアップグレードについては、このセクションを確認してください。

### インストールおよびアップグレード

Informatica バージョン 10.5.3 は HotFix リリースです。このバージョンは、統合インストーラの一部として、PowerCenter、Informatica Data Quality、Data Engineering 製品、Catalog 製品、Data Privacy

Management、および Test Data Management 製品をサポートします。Test Data Management と Data Privacy を使用するには、HotFix の適用に加えて、サービスのアップグレードが必要です。

Informatica バージョン 10.5.3 は、次のいずれかのインストール方法でインストールできます。

- 新規インストール
- サポートされているバージョンからのアップグレード
- 10.5、10.5.1、または 10.5.2 への HotFix の適用

HotFix を製品にインストール、アップグレード、または適用する手順は、各製品の個別のガイドに記載されています。

## アップグレードパス (10.5.3)

実行するアップグレードパスは、アップグレードする製品に応じて異なります。直接アップグレードをサポートしていないバージョンを使用している場合は、サポートされるバージョンに先にアップグレードしておく必要があります。

次の表に、インストーラでサポートされる各製品のアップグレードパスを示します。

製品	バージョン
PowerCenter	サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。 以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li></ul>
Informatica Data Quality	以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li></ul>
Data Engineering Integration Data Engineering Quality	サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。 以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2</li><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2.1</li><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2.2</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li></ul> <b>重要:</b> Informatica インストーラでサポートされている他の製品と同じドメインに Data Engineering がある場合は、10.5.3 にアップグレードする前に、すべての製品がサポートされている同じアップグレードバージョンにアップグレードされていることを確認してください。
Data Engineering Streaming	サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。 以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- HotFix、サービスパック、または累積パッチを含む 10.2.2</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li><li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li></ul>

製品	バージョン
Data Privacy Management	サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。
Enterprise Data Catalog	<p>サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。</p> <p>以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li> <li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li> </ul> <p><b>重要:</b> Enterprise Data Catalog と Data Engineering が 10.4 より前のバージョンの同じドメインにある場合は、10.5.3 にアップグレードする前に、それらをバージョン 10.4 または 10.4.1 にアップグレードしてください。</p>
Enterprise Data Preparation	<p>サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。</p> <p>以下の以前のバージョンからバージョン 10.5.3 にアップグレードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4</li> <li>- サービスパックまたは累積パッチを含む 10.4.1</li> </ul> <p><b>重要:</b> Data Engineering、Enterprise Data Catalog、および Enterprise Data Preparation が 10.4 より前のバージョンの同じドメインにある場合は、10.5.3 にアップグレードする前に、それらすべての製品をバージョン 10.4 または 10.4.1 にアップグレードしてください。</p>
Test Data Management	サービスパックまたは累積パッチを含むバージョン 10.5、10.5.1、および 10.5.2 に対して 10.5.3 HotFix を適用できます。

## 10.5.3 の修正された問題と実装された拡張要求

このセクションには、10.5.3 で修正された問題と拡張要求が含まれています。

### Data Engineering Integration 修正された問題（10.5.3）

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
BDM-39624	タイムゾーン情報が Blaze サービスログに表示されない。
BDM-39625	タイムゾーン情報がリバースプロキシサーバーのアクセスログに表示されない。

問題	説明
BDM-40186	Spark エンジンが Cloudera CDP 7.2.x プライベートクラウドクラスターでデータプレビューを実行すると、ジョブが次のエラーで失敗する: Error:Exception in thread "main" java.lang.NoSuchMethodError: scala.concurrent.ExecutionContext\$Implicits \$.global()Lscala/concurrent/ ExecutionContextExecutor;
PLAT-28992	デプロイメントマネージャから電子メールサービスを削除しても、サービスが無効にならない。

## Data Engineering Quality 修正された問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
IDQ-10359	Developer tool で、標準化およびパーサートランスフォーメーションの操作名に不要な検証チェックが適用される。

## Data Engineering Streaming 修正された問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
IIS-5716	Spark エンジンでジョブを実行すると、連続して実行されるたびに、前のジョブが Spark ジョブリストに表示される。
IIS-5775	Confluent Kafka のソースとターゲットでスキーマ形式として XML、Flat、JSON を使用して動的マッピングを実行すると、マッピングは検証エラーを表示しない。
IIS-5777	パラメータ化された Avro スキーマ形式でストリーミングマッピングを実行すると、マッピングが正しくないデータを返す。

問題	説明
IIS-5778	Confluent Kafka のソースとターゲットでスキーマおよびスキーマ形式としてインテリジェント構造モデルパラメータを使用して動的マッピングを実行すると、マッピングは失敗する。
IIS-5849	パーティション分割された Hive ターゲットでストリーミングマッピングを実行すると、誤った順序でパーティションフォルダが作成される。

## Data Privacy Management 修正された問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
SATS-42203	Data Privacy Management にインポートする前に Enterprise Data Catalog で結果を手動で更新すると、インポートされたカタログリソースの [データの一致] カラムと [メタデータの一致] カラムに誤った値が表示される。
SATS-42235	Hive データストアでサブジェクトレジストリスキャンと行カウントジョブステップが次のエラーで失敗する: Could not initialize class org.apache.hive.jdbc.HiveConnection

## Enterprise Data Catalog の修正された問題と実装された拡張要求 (10.5.3)

### 修正された問題

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
BG-3025	Analyst ツールから特定の用語集を削除することができない。
EIC-19961	プロファイルを実行してテーブルが失敗すると、正常にプロファイリングされたテーブルのプロファイリング結果がカタログツールに表示されない。
EIC-27445	初期設定 (OOTB) のデータドメインを Catalog Administrator ツールから削除しても、Catalog ツールでアセットにタグ付けされたデータドメインが削除されない。



問題	説明
EIC-43113	Informatica Data Quality リソースでプロファイルを実行すると、データドメインに関連付けられていないカラムがカタログツールのプロファイリング結果に表示されない。
EIC-46696	Server Message Block (SMB) または Common Internet File System (CIFS) プロトコルを使用してファイルをスキャンすると、ジョブが次のエラーで失敗する: SMBRuntimeException: com.hierynomus.smbj.transport.TransportException: com.hierynomus.protocol.commons.buffer.Buffer\$BufferException: Underflow
EIC-46867	簡単な接続モードを使用して Google BigQuery リソースの外部テーブルでプロファイルを実行すると、プロファイルの実行が次のエラーで失敗する: The [QUERY] job failed with the following error: [Federated queries in legacy SQL on Parquet format are not allowed.]
EIC-47333 EIC-61515	Catalog Administrator ツールで、データドメインおよびデータドメインのプロパゲーションジョブが、Catalog Service の次のカスタムプロパティで指定した値に基づいてトリガされない: <ul style="list-style-type: none"> <li>- LdmCustomOptions.scanner.systemScannerMinutelyRecurrence.DataDomain.DataDomainSyncScanner</li> <li>- LdmCustomOptions.scanner.systemScannerMinutelyRecurrence.DataDomainPropagation.DDPScanner</li> </ul>
EIC-47960	リソースで複合データドメインの検出を実行する場合に、条件で AND 演算子を使用してデータドメインをリンクさせて複合データドメインルールを定義すると、結果に矛盾が生じる。
EIC-56610	データドメインおよびデータドメインのプロパゲーションジョブのスケジュールを無効にして、カタログサービスをリサイクルすると、無効化されたスケジュールが有効になる。
EIC-57942	事前検証ユーティリティが、次のエラーで失敗する: "Following directories have failed permission check validations : /opt/informatica/ics Reason : Not empty on first run"
EIC-58801	Salesforce Metadex リソースでプロファイルを実行すると、メタデータルールベースのデータドメインが推測されず、プロファイル結果に表示されない。



問題	説明
EIC-59695	Informatica クラスタサービスを作成すると、サービスが次のエラーで失敗する: "PrevalidationCmdMsgs_20082: ping command installation check [FAILED] [Output:ping: fdec:9220:5fff:9601::1100: Address family for hostname not supported Ping not configured on host fdec:9220:5fff:9601::1100 10.1.96.100]" これは、hostname -i コマンドが IPv6 アドレスと IPv4 アドレスを返した場合に発生します。
EIC-60888	プロファイリングを有効にして Snowflake MetaDex スキャナを実行すると、データドメインにマッピングされたビューが Catalog ツールに表示されない。
EIC-60934	複数のスキーマが含まれた [Object include filters] パラメータを使用して、プロファイリングを有効にした状態で Snowflake MetaDex スキャナを再実行すると、MetaDex スキャンが次のエラーを返す: Could not import generated files into EDC
EIC-61013	ADLS Gen2 ディレクトリの特定のセットをスキャンすると、Microsoft Azure Data Lake Store リソースが null ポインタ例外で失敗する。
EIC-61015	<b>[電子メール通知ダイジェストを有効にします]</b> オプションが、Enterprise Data Catalog ツールでデフォルトで有効になっている。
EIC-61204	<b>[フィルタの適用]</b> ダイアログボックスで、[リネージュと影響] ビューにカスタムの方向フィルタを適用できない。
EIC-61205	<b>[フィルタの適用]</b> ダイアログボックスで、保存したフィルタを編集するときに、[リレーション] と <b>[方向]</b> フィルタオプションが表示されない。
EIC-61206	<b>[フィルタの適用]</b> ダイアログボックスで、[検索] テキストボックスを使用して保存したフィルタを検索できない。
EIC-61215	Amazon S3 V2 リソースが、テキストファイルからメタデータを抽出できない。
EIC-61265	接続の割り当てが正しい場合でも、Hive リソースが正しくないマッピングを抽出する。
EIC-61304	PowerCenter リソースによって抽出されたマッピングメタデータに、アグリゲータトランスフォーマーの制御リネージュが含まれていない。
EIC-61314	Amazon S3 リソースでプロファイルを実行すると、リソースで設定済みのプロキシ設定が使用されない。

問題	説明
EIC-61322	メモリが十分にある構成で Azure Data Factory (ADF) MetaDex スキャナを実行すると、リソースが次のエラーで失敗する: java.lang.OutOfMemoryError: GC overhead limit exceeded この問題は、リソースに多数のオブジェクトとリンクが含まれている場合に発生します。
EIC-61433	Informatica Data Quality リソースの抽出プロセスとステージングプロセスが、完了せずにいつまでも実行される。
EIC-61649	Oracle リソースからの表形式のアセットに対して、 <b>【カラム】</b> タブからデータドメインをキュレートすることができない。この問題は、テーブルがシノニムに関連付けられている場合に発生します。
EIC-61695	Axon 用語集をビジネスタイトルとしてアセットに関連付けると、Axon 用語集がパネルの外に表示される。
EIC-61840	Enterprise Data Catalog ツールの <b>【複合データドメイン】</b> セクションでフィルタを適用することができない。
EIC-62013	MetaDex ツールを介してスキャンされた Power BI レポートがプリフィルタで表示されず、Microsoft Power BI レポートにデフォルトのレポートプリフィルタを使用することができない。
EIC-62274	Informatica Data Quality リソースでプロファイルを実行すると、カタログツールのスコアカードに関連するルールとメトリックがリソースで抽出および表示されない。
EIC-62546	Catalog Administrator ツールで、 <b>【カスタム属性】</b> タブでカスタム属性に関連付けられたデータ所有者を表示できない。
MDX-29806	MetaDex スキャナジョブを実行すると、ジョブが何時間も継続され、デバッグログにも進行状況が記録されない。
MDX-29854	Databricks Notebooks MetaDex スキャナで datetime モジュールを使用して式を実行すると、複数のエラーが発生する。
MDX-30048	Microsoft Power BI スキャナでワークスペースをスキャンすると、ジョブは成功しても、誤ったジョブの結果がカタログツールに表示される。リネージュは、異なるワークスペースにあるデータセットおよびレポートに対しては不正確です。
MDX-30054	DataStage MetaDex スキャナが、運用メタデータファイル内の不適切な XML 属性からジョブ名を取得する。

問題	説明
MDX-30173	COBOL MetaDex スキャナのスキャンログに値のないスタックトレース情報が多数表示され、読み取ることができない。
MDX-30254	Informatica Intelligent Cloud Services MetaDex スキャナを実行すると、ジョブは成功しても一部の接続が「接続の割り当て」ページに表示されないことがある。
MDX-30605	同じ ID を持つオブジェクトを含むタスクに対して Informatica Intelligent Cloud Services MetaDex スキャナを実行すると、次のエラーが表示される: Fetching objects failed: Duplicate key
MDX-30655	Databricks Notebooks スキャナを実行して複雑なノートブックをスキャンすると、ジョブが次のエラーで失敗する: OutOfMemoryError
MDX-30775	接続名に小文字が含まれている場合、Informatica Intelligent Cloud Services MetaDex スキャナの接続を定義できない。

### 実装された拡張要求

次の表に、実装された拡張要求を示します。

問題	説明
EIC-46760	ビジネス用語を MongoDB リソースのアセットに関連付けることができるようになりました。
EIC-46867	標準 SQL 言語を使用する混合接続モードを使用して、Google BigQuery データソースからメタデータをプロファイリングおよび抽出できるようになりました。
EIC-56819	Google BigQuery リソースで複合データドメインの検出を有効にできるようになりました。
EIC-58355	SAP S/4 HANA リソースで類似性検出を有効にできるようになりました。

## Enterprise Data Preparation の修正された問題（10.5.3）

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
IDL-18780	Hive テーブルにパブリッシュされたデータアセットを開くと、 <b>【値の頻度】</b> のセクションの <b>【概要】</b> ページがロードされない。

## インストールおよびアップグレード修正された問題（10.5.3）

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
PLAT-29764	コンソールモードで Informatica 10.5.2 にアップグレードすると、パスワードの入力を求めるプロンプトがインストーラで誤って表示される。
PLAT-30111	Informatica 10.5.2 クライアントを Windows マシンにインストールすると、手順 2 で空白の画面が表示され、次の手順に進むことができない。この問題は、タイムゾーンが <b>[(UTC-12:00) 国際日付変更線西側]</b> に設定されている場合に発生します。

## モデルリポジトリサービス修正された問題（10.5.3）

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
MRS-2454	MRX_LDO_DETAILS ビューでクエリを実行すると、クエリが誤った数の行を返す。
MRS-2457	MRX_LDO_SRCCNT ビューでクエリを実行すると、クエリが誤った数の行を返す。
MRS-2470	MRX_PDO ビューでクエリを実行すると、クエリがモデルリポジトリサービスのすべての物理データオブジェクトを一覧表示せず、CONN_NAME カラムに null 値を返す。
MRS-2495	MRX_MAP_SRCCNT ビューに、マッピングのソースオブジェクト値の完全なリストが表示されない。
MRS-2499	MRX_APPLICATION_STAT ビューでクエリを実行すると、クエリがアプリケーション名と PARENT_STAT_ID カラムに null 値を返す。

問題	説明
MRS-2500	MRX_RT_SQLDS_DETAILS ビューでクエリを実行すると、クエリが VSCHEMA_DESC カラムと VT_DESC カラムに null 値を返す。
MRS-2571	MRX_RT_APP_SUMRT ビューでクエリを実行すると、クエリが行を返さない。
MRS-2637	次の検索インデックスの破損の問題が発生した場合、モデルリポジトリサービスが応答しない: org.apache.solr.common.SolrException: No such core: solrCore。
MRS-2652	MRX_APPLICATION_STAT ビューでクエリを実行すると、データ統合サービスにデプロイされているアプリケーション名とアプリケーション ID に対してクエリが null 値を返す。

## プロファイリングおよびスコアカードの修正された問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
IDE-5520	プロファイルのフィルタを編集してプロファイルを保存すると、重複したフィルタ条件が Analyst ツールに表示される。
IDE-5573	精度が 255 を超えるカラムに対してプライマリキー推定オプションを使用してプロファイルを実行すると、プロファイルが次のエラーで失敗する: Argument has wrong value: expected '<=255', but was '>255'.
IDE-5609	メトリックをスコアカードに追加すると、NullPointerException が Analyst ツールに表示される。

## Test Data Management 修正された問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
TDM-29689	SSN マスキング手法で、無効な数値により値がマスクされる。
TDM-29815	ソースデータに一意のレコードが3つしか含まれていない場合、シャッフルマスキングが適切に機能しない。

### サードパーティ 製品の修正済みの問題 (10.5.3)

以前の修正済みの問題については、以前のリリースのリリースノートを参照してください。

以下の表に、修正済みの問題を示します。

問題	説明
EIC-61636	アクセス制御リストからメタデータを抽出すると、Google BigQuery リソースが次のエラーで失敗する: <code>com.google.cloud.bigquery.BigQueryException: Unrecognized access configuration</code>
PLAT-29578	IBM AIX プラットフォームで暗号が更新されたセキュアドメインを使用すると、ドメインが断続的にシャットダウンする。 IBM サポートチケットの参照番号: <a href="https://www.ibm.com/support/pages/apar/IJ37785">https://www.ibm.com/support/pages/apar/IJ37785</a>

## 10.5.3 の既知の問題

このセクションには、10.5.3 で見つかった既知の問題が含まれています。

## Data Engineering 既知の問題 (10.5.3)

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
BDM-40490	MapR 6.0 MEP 6.3.6 クラスタの Blaze エンジンで Hive ソースとターゲットを使用して Hive on S3 マッピングを実行すると、マッピングが失敗する。
BDM-40491	<p>Azure HDInsight LLAP クラスタ上の Spark エンジンで Hive ソースとターゲットを使用してマッピングを実行すると、マッピングが次のエラーで失敗する:</p> <p>Caused by: org.apache.spark.SparkException: Job aborted due to stage failure: Task 0 in stage 0.0 failed 4 times, most recent failure: Lost task 0.3 in stage 0.0 (TID 3, wn3-qa7was.1320suh5npyudotcg1z0izgnhe.gx.internal.cloudapp.net, executor 1): org.apache.spark.SparkException: Task failed while writing rows. at org.apache.spark.sql.execution.datasources.FileFormatWriter\$.org\$apache\$spark\$sql\$execution\$datasources\$FileFormatWriter\$\$executeTask(FileFormatWriter.scala:292)  at org.apache.spark.sql.execution.datasources.FileFormatWriter\$\$anonfun\$write\$1.apply(FileFormatWriter.scala:198)  at org.apache.spark.sql.execution.datasources.FileFormatWriter\$\$anonfun\$write\$1.apply(FileFormatWriter.scala:197)</p>
BDM-40550	Informatica Administrator で、ジョブクラスタのログ集約のマッピング実行ログにエラーが表示される。



## Data Engineering Streaming 既知の問題（10.5.3）

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
IIS-5774	Confluent Kafka をソースおよびターゲットとして動的マッピングを実行すると、次の条件が当てはまる場合、誤ったデータが表示される。 <ul style="list-style-type: none"><li>- データオブジェクトが Avro 形式である。</li><li>- 実行時にデータソースからデータオブジェクトのカラムを取得するオプションを有効にする。</li></ul>
IIS-5776	Confluent Kafka をソースおよびターゲットとして使用して動的マッピングを実行すると、次の条件が当てはまる場合、schema パラメータはエラーを返す。 <ul style="list-style-type: none"><li>- スキーマ形式が XML タイプである。</li><li>- スキーマがパラメータの割り当てに設定されている。</li></ul>
IIS-5842	複合型 XML スキーマのフィールドにハイフン (-) が含まれている場合、XML Kafka Data オブジェクトがデータを Hive テーブルにロードしない。

## Data Privacy Management の既知の問題（10.5.3）

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
SATS-42324	データリスクスコアまたは分類ポリシー条件を含むデータストアセキュリティポリシーで、違反が生成されない。

## Enterprise Data Catalog の既知の問題（10.5.3）

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
EIC-62011	Azure Data Lake Storage Gen2 V2 リソースでプロファイルを実行すると、メタデータスキャンは正常に実行されても、値の頻度の結果がカタログツールに表示されない。
EIC-62012	Azure Data Lake Storage Gen2 V2 リソースでプロファイルを実行すると、メタデータスキャンは正常に実行されても、プロファイリング結果が XML および JSON ファイルのカタログツールに表示されない。

問題	説明
EIC-62076	MetaDex スキャナジョブマッピングの【概要】タブで、管理中のアセット情報を表示できない。
EIC-62148	空のビジネス用語集カラムを含んだ類義語ファイルをアップロードすると、誤ったエラーメッセージが表示される。
EIC-62170	属性の【フィルタリングを許可】オプションを有効にしていない場合でも、【検索結果】ページでデータ所有者、データスチュワード、および分野の専門家（SME）の属性をフィルタとして表示できてしまう。
EIC-62303	AxonExports API を使用してジョブをエクスポートすると、【ジョブの監視】ページに空のジョブタイプが表示される。
EIC-62304	AxonExports REST API を使用して Axon アセットをエクスポートすると、【ジョブの監視】ページでジョブステータスが【失敗】と表示される。
EIC-62318	Informatica Axon リソースのデータセット【概要】ページで、関連する技術アセットを表示できてしまう。
EIC-62323 および EIC-62272	次のリソースに対するメタデータ抽出中の解決フェーズおよびパブリッシュフェーズで、パフォーマンスの問題が表示される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Google BigQuery</li> <li>- SQL Server 統合サービス</li> </ul>
EIC-62324	Catalog Administrator ツールでは、SAP BusinessObjects リソースによって抽出されるアセットの数が、アップグレード前とアップグレード後に異なる場合がある。
EIC-62362	Catalog Administrator ツールでアプリケーション設定を更新すると、初期設定の属性に対して有効化されていた【フィルタリングを許可】オプションが無効になる。
EIC-62384	データ検出を有効にして 90k の容量を持つ Oracle リソースを実行すると、パフォーマンスが低下する。
EIC-62416	【リネージュと影響】タブで、Google BigQuery リソースのビュー間の内部リネージュを表示できない。
EIC-62435	Microstrategy リソーススキャンが、ステージング中に例外で失敗する。
EIC-62456	【監視】タブの【進行状況】セクションで、リソーススキャンの操作名、開始時刻、および終了時刻を表示できない。

問題	説明
EIC-62487	Amazon S3 リソースを使用して Parquet ファイルからメタデータを抽出した場合、カラムレベルのリネージュを表示できない。
EIC-62505	Enterprise Data Catalog バージョン 10.5.3 にアップグレードすると、表形式のアセットの Tableau データの抽出 (TDE) ファイルをエクスポートできない。エクスポートはエラーで失敗する。
EIC-62512	一部のパネルからデータドメインをエクスポートできない。エクスポートは失敗し、 <b>【ジョブの監視】</b> ページでジョブステータスが <b>【失敗】</b> と表示される。
EIC-62517	リソースのスキャン失敗通知を受け取るユーザーを追加すると、そのユーザーにアセットの変更と電子メール通知が送信されてしまう。
MDX-31121	Data Integration Hub スキャナを実行して、Snowflake Cloud Data Warehouse コネクタでマッピングタスクをスキャンすると、ジョブが次のエラーで失敗する: Could not process session v2_del_3_dw.mt_m_s3_snowflake_dw.mt_m_s3_snowflake_dw. Error: null
MDX-31684 および MDX-31718	Informatica Intelligent Cloud Services MetaDex スキャナで、階層を持つ Business 360 アセットからメタデータを抽出できない。

## Informatica Developer 既知の問題 (10.5.3)

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
BDM-40283	マッピングでリレーショナルオブジェクトに SQL 制約を使用した場合に、 <ul style="list-style-type: none"> <li>- パラメータのタイプとして式を使用して SQL 制約をパラメータ化することができない。</li> <li>- パラメータ化されていない SQL 制約のデータレビューを実行すると、SQL 制約条件を処理できない。</li> </ul>

## Informatica インストーラ既知の問題（10.5.3）

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
PLAT-30174	10.5.3 の HotFix を適用すると、Linux で 10.5.3 のアンインストールが失敗する。 回避策: 残りのファイルを Informatica インストールディレクトリから手動で削除します。

## PowerCenter の既知の問題（10.5.3）

以下の表に 10.5.3 で見つかった既知の問題を示します。

問題	説明
PLAT-29878	ワーカーノードの Configuration Support Manager (CSM) 診断を実行すると、診断レポートが空白のページとして開く。この問題は、マルチノードクロスレルムのドメインで発生します。

## 累積的な既知の制限事項

このセクションには、前のリリースから引き継がれた既知の制限事項が含まれています。

## Data Engineering Integration の既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
BDM-33585	Blaze エンジンで実行されているマッピングが HDFS の暗号化ゾーンに対して読み取りまたは書き込みを行うと、マッピングが失敗する。 回避策: Blaze でマッピングを実行するユーザーが偽装ユーザーと同一となるように設定します。別のユーザーを使用するには、Blaze ユーザーに DECRYPT 特権を付与します。
BDM-35089	Spark エンジンでルックアップトランスフォーメーションを含むマッピングが実行されているときに、Source_Rows と Target_Rows の数が誤って表示される場合がある。 回避策: Blaze エンジンでマッピングを実行します。
BDM-38130	Blaze エンジンで長時間実行されているマッピングが、委任トークンエラーで失敗する。

## Data Engineering Streaming の既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の問題を示します。

問題	説明
IIS-5702	Kafka ソースで JSON 形式の配列を含むストリーミングマッピングでデータをプレビューすると、マッピングが失敗する。

## Data Privacy Management の既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
SATS-42168	Snowflake 詳細スキャナデータストアのスキャン結果にビューが含まれない。
SATS-42220	[データストア] ページに表示されるリスクスコア値が、[リスクスコアの詳細] ページに表示される値と異なる。

## ドメインの既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
PLAT-29483	Windows プラットフォームで infaservice.bat startup コマンドを使用して Informatica ドメインを起動すると、runcpuprofile コマンドはエラーメッセージを表示して失敗し、ドメインはシャットダウンする。 [ICMD_10033] Command [runcpuprofile] failed with error [[DTF_0016] Receive interrupted because the underlying session has been closed.] 回避策: Informatica ドメインを Windows サービスとして起動します。

## Enterprise Data Catalog の既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
EIC-58384	誤った平均評価がリソースの【レビュー】タブに表示される。この問題は、平均値が整数になる評価をユーザーが追加した場合に発生します。
EIC-58448	Catalog Administrator ツールで、【リソース】ページが Microsoft Internet Explorer にロードされない。 回避策: debug=true を URL の要求パラメータとして使用します。
EIC-58468	【グループ別】 ドロップダウンリストで LABEL_NONE_を選択した場合に、【接続の割り当て】ワークスペースで接続をフィルタリングできない。
EIC-60256	Amazon S3 V2 および Microsoft Azure Data Lake Store V2 リソースで Avro ファイルまたは Parquet ファイルのプロファイリングを実行すると、Enterprise Data Catalog ツールで、パーティション化されたカラムに対して誤ったプロファイリング結果が表示される。Amazon S3 V2 および Microsoft Azure Data Lake Store V2 リソースで Avro ファイルまたは Parquet ファイルのプロファイリングを実行すると、Enterprise Data Catalog ツールが、パーティション化されたカラムに対して誤ったプロファイリング結果を表示する。
EIC-60975	次の状況で、アセットナビゲーションの問題が発生する。 <ul style="list-style-type: none"><li>- Catalog ツールで子アセットでタブを開いた後、親アセットで外部キーまたはプライマリキーのリレーションリンクを開くと、子アセットで開いたタブに戻る。</li><li>- 【すべて表示】をクリックしてアセットの【テーブル】ダイアログボックスを開き、外部キーリレーションリンクをクリックすると、アセットが【キー】タブに移動する。</li></ul>
EIC-61077	Power BI リソースの推測されたビジネスタイトルが Catalog ツールに表示されない。
EIC-61151	2500 人を超えるユーザーがいる場合にデータスチュワード、データ所有者、または分野の専門家（SME）を追加すると、Catalog ツールでユーザーの読み込みが失敗する。2500 人を超えるユーザーがいる場合、データスチュワード、データ所有者、または分野の専門家（SME）を追加すると Catalog ツールがユーザーの読み込みに失敗する。

## PowerCenter の既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
PLAT-29524	ユーザーアクティビティログに、Kerberos ドメイン内の無効なユーザーのアクティビティ情報が表示されない。

## サードパーティ製品に関する既知の制限事項（累積）

以下の表に以前のリリースから引き継がれている既知の制限事項を示します。

問題	説明
BDM-33828	Spark エンジンが Cloudera CDP クラスタでマッピングを実行すると、次の SPARK_1003 エラーでマッピングが失敗する。 MetaException (message:Permission denied: user [<impersonation user>] does not have [SELECT] privilege on [default]) <b>回避策:</b> Ranger で、Spark クエリを実行するすべてのユーザーのデフォルトデータベースに SELECT 特権を追加します。 Cloudera チケット: CDPD-12622 詳細については、 <a href="#">Cloudera 7.1.1 Release Notes</a> を参照してください。
BDM-39472	次の条件が当てはまる場合、Hive ソースとターゲットを使用したマッピングは失敗する。 <ul style="list-style-type: none"><li>- Hive ソースに 225 カラム以上が含まれている。</li><li>- マッピングにより、ターゲットの Hive テーブルが切り詰められる。</li><li>- マッピングにより、Hive ターゲットパーティションが切り詰められる。</li></ul> Apache チケットの参照番号: <a href="https://issues.apache.org/jira/browse/HIVE-25999">https://issues.apache.org/jira/browse/HIVE-25999</a>

## Emergency Bug Fix10.5.3 への統合

Informatica では、以前のリリースの緊急修正（EBF）をバージョン 10.5.3 に統合しました。これらの EBF では、以前のリリースで見つかった問題に対する修正を提供しています。

バージョン 10.5.3 に統合された EBF の一覧については、次の Informatica Knowledge Base の記事を参照してください:

<https://knowledge.informatica.com/s/article/What-are-the-Emergency-Bug-Fixes-EBFs-merged-into-Informatica-10-5-3>



## Informatica グローバルカスタマサポート

グローバルカスタマサポートにお問い合わせいただく場合は、電話または Informatica Network からご連絡ください。

それぞれの地域の Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号については、Informatica Web サイト

(<https://www.informatica.com/services-and-training/customer-success-services/contact-us.html>) を参照してください。

Informatica Network のオンラインサポートリソースについては、<https://network.informatica.com> の eSupport オプションをご確認ください。